

# 明神さま

宇都宮二荒山神社



格式と風格を感じさせる拝殿。  
新たにご奉納いただいた賽銭箱も、早くも風景になじんでいます



戦前の頃の当社拝殿((石井敏夫コレクション)「絵葉書が映す下野の明治・大正・昭和」随想舎より)

- 1 | 新宮司 荒井和宏ご挨拶
- 2 | 新権宮司 野崎正之ご挨拶 他
- 3 | 明神五景
- 4 | 第50回ふるさと宮まつり開催
- 5 | ご奉納のご報告と御礼
- 6 | 行事ニュース
- 7 | お正月授与品のご紹介
- 9 | 式年遷宮 山口祭・木本祭
- 10 | 祭礼特別協賛御礼
- 11 | ふたあらかわら版

新宮司  
ご挨拶

# 宇都宮の由緒あるシンボル 二荒山神社の伝統を大切に

宮司 荒井 和宏



この度、阿部徳宮司の後任として、四月一日付けをもちまして神社本庁より二荒山神社宮司を拜命致しました。素より浅学非才の身にて責任の重大さを痛感致しておりますが、拜命いたしました上は大神様の御加護を仰ぎ、祭祀の厳修と御神徳の発揚のため、誠心誠意、神明奉仕に務めて参る所存でございます。

阿部前宮司におかれましては、祭礼の

振興や令和の御大典事業など幾多の事業を完遂されました。この功績は誠に大いなるものがあります。今後は、各種事業をしっかり継承しつつ、折に触れ諸先輩神職が築いてこられた業績を振り返るとともに、新しい時代に求められる神社の在り方を追いついて参りたいと思います。

さて、宇都宮市では令和5年8月にJRR宇都宮駅東口より芳賀・高根沢工業団地をつなぐ新しい交通システムLRT、通称「ラ

イトライン」が開通し、全国的にも大きな注目を集めています。全長約14・6キロのライトラインは市民の皆様の日常の足であるとともに、観光の目玉としても注目され、新しい宇都宮市の姿を描き出しています。今後、西側への延伸も決定していることから、当社周辺の交通環境も大きな変化の時を迎えることになるかと存じます。

このような変革の時代に、当二荒山神社は市民の皆様にとって、変わらぬ信仰の場であり、歴史文化を伝える場であることを改めて自覚し、これまで以上にしっかりとした役割を果たさなければならぬと、改めて考えているところです。

二荒山神社は、古くより下野国一の宮と

して、また宇都宮のシンボルとして地域の人々に親しまれ崇敬されてきました。由緒ある神社でございます。これからもそうした神社の伝統を守り、さらに発展させると共に、今後も境内整備を実施し、御社頭の隆昌と地域の活性化のため、さらなる前進を果たしていきたいと存じます。

最後になりましたが、氏子の皆様をはじめ地域の皆様方には、日頃より神社の諸行事につきまして格別なご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。今後とも尚一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



秋季皇霊祭遙拝（秋分の日齋行）

Photo

荒井 和宏 あらい かずひろ

昭和四十三年 宇都宮市埴田生まれ  
平成三年三月 國學院大學卒業  
平成三年四月 東京都 井草八幡宮奉職  
平成六年四月 二荒山神社奉職  
令和五年二月 二荒山神社禰宜拜命  
令和六年六月 二荒山神社権宮司待遇拜命  
栃木県青年神職むすび会会長、  
栃木県神社庁教化委員長歴任  
鹿沼市加蘇山神社ほか九社兼務宮司

新権宮司  
ご挨拶

# 古き良き文化伝統と 時代の流れの調和を

権宮司 野崎 正之



去る令和七年五月一日付をもちまして、二荒山神社権宮司に就任させて頂きました。

私は当社に奉職して、今年で三十二年に成ります。これまで大過なく勤めてまいりましたのも、ひとえに二荒山神社の大神様の御神徳御加護であり、また宮司・職員・氏子総代・氏子崇敬者の皆様との御蔭と、深く感謝申し上げます。

さて、当社祭事に於きましては、日頃より氏子崇敬者の皆様のご協力により毎年つつがなく斎行しており、改めて感謝の念に堪えません。しかしながら近年の社会の変化、特に地域の人口減少に伴って、渡御行事天王祭・菊水祭・春冬渡祭と神輿・鳳輦の担ぎ手不足や、物価高騰による運営資金の調達の手続きなど、さまざまな問題をかかえています。

これは当社だけでなく、地域に根ざす神社の多くが直面している課題と申せましょう。このことに関しましては、今後は古き良き文化伝統を残しつつ、同時に時代の流れや変わりゆく地域の姿に合わせながら、渡御形態の変更などを考えるなど、長く次世代に引き継ぐべく努力していきたいと存じます。

今後は新宮司を助け、職員一丸となつて祭事等斎行していく所存でありますので、氏子崇敬者の皆様のご協力を、何卒宜しくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

## 新入職員紹介（令和7年4月1日入社）



伊藤 権禰宜

生年月日／平成9年5月18日  
前奉仕先／白鷺神社



石野 巫女

生年月日／平成18年7月30日

## 神社ミニ知識

### どんな人が働いているの？

神社で働く人には、どんな役職があるかご存じですか？当社では、宮司や権宮司などの神職と、女性の巫女や事務員が働いています。

#### 【神職】

神職にはその神社の代表者である「宮司」、その補佐をする「権宮司」、一般の職員である「禰宜」・「権禰宜」などの役職があります。当社では宮司・権宮司は1人、禰宜と権禰宜は合わせて9名が務めています。

神職の仕事は神社業務全般です。祭祀や祭典などで祭員を務めたり、お札などの授与、事務など神社の業務全般を務めています。

神職として働くためには「神職資格」を取得する必要があります。

#### 【巫女】

巫女は、参拝客の対応をしたり、お守り・お札の頒布をしています。当社では社務所の受付所も巫女の業務です。

当社では、ふだんは7名の巫女がおりますが、年末年始など多忙な時期にはその間の補助として助勤者を雇用することがあります。

また祭礼においても巫女が神職を手伝ったり、行事の中で「巫女舞」などを行っております。





第50回ふるさと宮まつり、神輿の勇姿

寄稿

# 第50回ふるさと宮まつり 盛大に開催

「であいとふれあいの広場」をテーマに、未来へ続くイベント

宇都宮青年会議所 宮まつり委員会委員長 矢古宇 弘明さん(南矢古宇建設取締役)

第50回ふるさと宮まつりが、令和7年8月2日(土)・3日(日)の2日間にわたって開催されました。宮まつり委員会委員長の矢古宇弘明さんに、2日を振り返って思うところをご寄稿いただきました。

令和7年8月2日(土)・3日(日)の2日間、大通りを中心に第50回ふるさと宮まつりが盛大に開催されました。ふるさと宮まつりは1976年、宇都宮青年会議所創立10周年の記念事業として始まりました。当初は1回限りの開催予定でしたが、市民の皆さまからの熱い要望に応え、多くの団体が加わる開催委員会として翌年以降も開催が決定。コロナ禍の時期を除いて、毎年開催し、第50回を迎えることができました。2日間で約57万人が来場し、まち全体が大きな活気に包まれました。

宮まつりは第1回から一貫して「であいとふれあいの広場」をテーマに掲げています。これは当日の交流はもちろん、開催に向けて各団体が何か月も前から準備を重ね、一つの目標に向かって力を合わせる過程における「であいとふれあい」のこともあります。この「であいとふれあい」こそが本質であり、だからこそ単なるイベントではなく、市民の絆とまち

の活力につながってきたのだと確信しています。今年はこの先も続く「宮まつり」をサブテーマとし、観客としてだけでなく参加者として関わることを呼びかけた結果、約1万人がまつりに参加し、節目の先の新たな一歩を示すことができました。

今回、歴史を振り返る中で「不易流行」という言葉の重みを改めて感じました。変わらぬテーマを守り続ける姿勢と、時代に応じた工夫を加える柔軟さ、その両立こそが市民に愛され続ける理由であり、未来へとつなぐ力になるのだと思います。

最後に、開催にあたり多大なご協力を賜った宇都宮「荒山神社様をはじめ、関わっていただいた全ての皆さまに心より感謝申し上げます。



写真上 / 第1回宮まつりの様子。これだけでも祭の喧騒と高揚感が伝わってきます  
写真下 / 力を合わせて神輿や山車、屋台を操ります。皆の楽しそうな表情にも注目してください



山車・屋台の提灯が夜の街を鮮やかに彩ります



# 明神景 五

～神社を遠くに望む風景～

北関東を代表する商都・宇都宮の中心に鎮座する当社。門前の風景の賑やかさは変わりましたが、神社は変わらず人びとの往来を眺め続けていました。そんな姿を想像しながら、神社を眺めてみましょう。

〈図版出典〉  
★=《石井敏夫コレクション》  
「絵葉書が映す下野の明治・大正・昭和」(随想舎)  
◆=《石井敏夫コレクション》  
「昔日の宇都宮」(随想舎)



鳥居から唐門を望む(昭和30年頃)



当社を背にして見るパンパ仲見世の賑わい



招魂社(現在の馬場通り3丁目南側あたり)から  
桜咲く当社を望む(昭和6年)

## 明

治16年5月に当社が国幣中社に社格が回復すると、翌17年1月に県庁が栃木町から宇都宮への移転が決定、このあたりから当社周辺のにぎわいある雰囲気が生まれます。

ちょうどこの頃、当社門前にあった広場は「広馬場公園」と呼ばれ、参拝客目当ての露天商が軒を連ねていました。現在もその名が残る「パンパ」とは、「馬場」が訛つて生ま



上空から見た当社(大正末期～昭和初期頃か)

## 3

れた愛称とも言われています。この露天商が仲見世街に発展し、明治43年の活動写真館「寿座」(のちの花屋敷)誕生を機に歓楽街を形成します。

昭和20年7月の宇都宮空襲で中心部が焼け野原になった後も逞しく復興したパンパ仲見世。しかし、防火と衛生面などから仲見世の撤去が決定すると、昭和35年4月、惜しまれながらその幕を緞じることとなりました。

## 4



参道を埋め尽くす日専連(協同組合連合会 日本専門店会連盟。昭和11年設立) 全国大会の参加者たち(昭和27年)



新装されたパンパ仲見世(昭和初期)

今年、多くの方々よりご奉納をいただきました。誠にありがとうございました。誌面を借りて、ご紹介させていただきます。

◆ 絵画奉納「朱雀」 栃木トヨタ自動車・新井社長

9月19日、栃木トヨタ自動車の新井社長より、さくら市出身の日本画家・窪井裕美様の作品「朱雀」(右)と向きと左向きの一对)をご奉納いただきました。拝殿内南側に掲げさせていただきました。



新井様よりご奉納いただいた、一对の「朱雀」



儀式の後に拝殿に掲げさせていただきました

◆ 大賽銭箱・御簾・壁代

助川通泰名誉宮司

助川通泰名誉宮司より大賽銭箱・御簾・壁代をご奉納いただきました。10月19日に奉納奉告祭を執り行いました。

◆ 藤棚奉納

宇都宮二荒山神社氏子青年会

10月に御本殿下内玉垣清掃奉仕、および昭和100年を記念して境内に藤棚をご奉納いただきました。



ご奉納後の記念写真

◆ 提灯奉納

坂本春樹様・廣子様

坂本春樹様・廣子様より、提灯をご奉納いただきました。



ご奉納いただいた提灯と坂本春樹様・廣子様



ご奉納いただいた大賽銭箱

行事ニュース

茶道研修を実施しました

当社では巫女を対象とする日本文化の研修の一つとして、定期的に「茶道研修」を行っています。令和7年度は7月15日、8月1日、9月1日に、表千家茶道教室代表・眞貝越子様を講師にお招きして、研修を行いました。

研修ではお茶の立て方だけでなく、立ち居振る舞いの作法などもご指導いただきました。

出席者からは「おもてなしの心や、ていねいな所作の大切さを学びました」「この経験をしつかり活かし、参拝者の方々に寄り添い、心を込めて接する姿勢を忘れず、奉仕を心がけたいと思います」などの感想が聞かれました。



眞貝越子様を講師にお迎えして開催



一つひとつの作法を細かく指導していただきました



茶道では、茶の立て方やいただき方だけでなく、作法も大切

全日本フラ選手権優勝チームが奉納演芸を披露

当社の上野藍良巫女が参加しているフラダンスチームが、7月19日に奉納演芸を披露しました。

フラダンスチーム「ハローウ・ナー・マモオ・プウアナフル」は昨年11月開催の「全日本フラ選手権2024」で優勝した、名門チーム。上野さんは数年前からそこに所属し、東京に通ってフラダンスを学んでいます。その縁から、今回の奉納が実現しました。

神楽殿で奉納する予定でしたが、当時はあいにくの雨。「宇陽の間」での演芸奉納となりました。



奉納演芸の様子。優しさと力強さ、流麗さを感じさせる踊りでした



小学校低学年からフラダンスを続けている上野藍良巫女

20年近くフラダンスを習っている上野さん。毎週1回、練習のために東京に通っています。音楽だけでなく歌詞の意味もしっかり学んで、自分のものにして踊るそうです。「今後もフラを続けていきます」と笑顔で話してくれました。



奉納後、メンバーで記念写真を撮影

七宝守  
1,000円

金運守  
1,000円

福鈴守  
500円

巾着守  
500円

貝守  
500円

福銭  
300円

開運・その他

幣束(白) 500円  
幣束(赤) 500円  
幣束(青) 500円

紙垂(中) 300円

商売繁昌大麻 1,000円

二荒山大麻 1,000円

組大麻(1と5のセット) 2,200円

神宮大麻 1,200円  
神宮大麻(中) 1,700円  
神宮大麻(大) 2,300円

千支絵馬(大) 5,000円  
千支絵馬(中) 3,000円

神馬絵馬  
1,000円

安産守  
1,000円

子宝守  
2,000円

病気平癒守  
2,000円

こま犬守  
1,000円

絵馬・縁起物他

千支絵馬(小) 1,000円

合格絵馬  
1,000円

交通安全ステッカー  
300円

交通キーホルダー守  
500円

交通安全守  
1,000円

交通安全守(吸盤付)  
1,000円

交通安全守  
1,000円

交通安全守  
1,000円

交通安全守  
1,000円

福俵(大) 3,000円  
福俵(小) 2,000円

熊手(台付) 2,000円

熊手(特大) 10,000円  
熊手(大) 5,000円  
熊手(中) 3,000円

鑰矢 各2,000円  
白・朱・金

神針(白) 2,000円  
神針(黒) 2,000円

破魔弓(朱) 2,000円  
破魔弓(黒) 2,000円

宝船七福神  
2,000円

福箕(台付) 2,000円

必勝守  
500円

必勝袋守  
1,000円

仕事守  
1,000円

合格守  
1,000円

学業守  
500円

学業えんぴつ守  
1,000円

火防まとい 1,500円  
火防まとい(台付) 1,500円

火防大麻 1,000円

二荒暦 300円

干支木彫 2,000円

干支張り子(破魔矢) 2,000円

干支張り子(首振り) 2,000円

餃子みくじ(大) 500円

ケース入神矢 各1,000円  
朱・橙・黄  
緑・紫・白

干支張り子 500円

干支土鈴(大) 1,000円  
干支土鈴(小) 500円

よりそい土鈴 1,000円

黄ぶな錦守  
1,000円

厄除守  
1,000円

身代わり守(女) 500円

身代わり守(男) 500円

錦守(小) 500円

錦守(大) 1,000円

●第63回式年遷宮 20年に一度の「式年遷宮」が始まりました



最初の神事「山口祭」「木本祭」が行われました

(写真提供 神宮司)



五色の幣を掲げた小工たちを先頭に祭場へ向かいます(内宮)

伊勢の神宮で20年に一度行われる「式年遷宮」は、社殿を新しく造営し、ご神体を新殿へ遷す日本を代表する神事です。令和6年4月8日に天皇陛下より御聴許を賜り、令和15年に斎行が予定されている、第63回式年遷宮の準備が始まりました。

式年遷宮の始まりを告げる重要な祭典が、令和7年5月2日〜3日に行われた「山口祭」と「木本祭」です。

この2つの祭りは、新しい社殿を建てるための御用材を伐り出す際に、神々に敬意を表するとともに、安全と神意の順調な進行を祈るものです。

【山口祭】

新しい社殿の御用材は「御杣山」(式年遷宮において、神殿の建材である御用材を伐り出す山のこと)から伐り出します。山に入る前にその入り口(山の口)におられる神様に、伐採のお許しをいただき、新宮造営の安全を祈る祭です。



山口祭に先立って行われる饗膳の儀(外宮)



忌鎌を掲げて草刈り初めの儀を行います(外宮)



少人数で行われる木本祭。修祓を終えて祭場へ向かいます(内宮)

【木本祭】

山口祭の翌日の夜に行われる秘儀です。正殿の床下中央に建てられる「心御柱」の御用材を伐採するにあたり、その木の根元(木の木)におられる神様を祀る祭りです。内宮・外宮それぞれで、深夜に執り行われます。

心御柱は社殿の象徴であり、その用材を扱うにあたって神に礼を尽くし、神威を敬う意味があります。

第63回式年遷宮令和7の祭典行事では、山口祭は5月2日午前8時(内宮)、正午(外宮)に、木本祭は同日夜8時(内宮)、深夜0時(外宮)に行われました。

これらの祭典を終えると、いよいよ御料木を伐るお祭りが始まります。今後33の神事を重ねて、遷宮が進められます。

祭礼特別協賛者御芳名(敬称略)

- ホテル丸治 ●(株)アクティチャレンジ代表取締役中村雄三 ●(株)山久 ●(株)雄都水産 ●(株)相村造園 ●(株)釜屋 ●(株)河屋酒店 ●(株)村上酒店 ●(株)黒子英明 ●池上町自治会 ●谷田部石材販売 ●(有)大磯開発社長磯賢次 ●山本孝雄 ●(有)八百熊本店 ●近江屋呉服店 ●スイーツ&カフェフラグス ●有)限会社鏡池堂印舗 ●(株)博泉堂 ●(有)上田屋 ●(株)春木屋 ●(株)ススタメ ●(有)夢創 ●(有)福勝不動産 ●関根則次公認会計士事務所 ●福田勝美 ●(有)福田コーポレーション ●松本功 ●大和証券(株)宇都宮支店 ●(株)常陽銀行宇都宮支店 ●野村證券(株)宇都宮支店 ●下野印刷(株) ●(株)栃木銀行馬場町支店 ●(株)東武ホテルマネジメント宇都宮東武ホテルグランデ ●(株)トーホー ●北関東 ●昭和商事 ●とちぎんT証券 ●印出井歯科医院 ●秋山塗工 ●(株)福田屋百貨店 ●(有)彩電和食品 ●(株)福田機械 ●(株)山本損保プロ保険サービスタイムズ24 ●(株)東邦銀行宇都宮支店 ●(有)彩電工業 ●(株)取締専務 羅田秀顕 ●ラッキー商会 ●高橋勝男 ●ビューティーサロンモード ●千蔵工業 ●塩井庸次 ●北関東総合警備保障 ●高橋税務会計事務所 税理士 高橋裕樹 ●パークラック 柿沼典克 ●(株)五光 ●(株)博報社代表取締役 高山仁 ●富塚メテカルクリック院長 富塚浩 ●(株)テクニカルワーク代表取締役 矢野隆昭 ●(有)堺屋商店 ●宇都宮オリオン通り商店街振興組合 ●ゆたか陶器 ●長谷川時計店 ●(株)丸美屋呉服店 ●(株)タカモリ 高山功紀 ●大谷和気保険事務所 和気理絵子 ●(株)ヴェルター不動産 ●ゆざわ歯科クリニック ●院長 鈴木克昌 ●曲町町琴平神社 ●田中洋一 ●田中駐車場 ●時計・宝石タケカワ ●(株)足利銀行宇都宮支店 ●フタバ食品 ●至誠会滝澤病院 ●栃木トヨタ自動車 ●(株)家具の上野 ●(株)木信用金庫 ●(有)長瀬文具 ●(有)長岡工業 ●稲葉勉法律事務所 ●(有)フッキーデザイン ●三栄不動産 ●(株)勝田亭 ●鈴木裕子 ●増田安雄 ●池田節子 ●ユーワールド ●(株)キクヤ ●(有)ホシノ産業 ●材木町通り協和会 ●斎藤商事 ●(株)銘茶関口 ●園 ●協同組合宇都宮餃子会 ●(有)丸伊呉服店 ●堀井宏祐 ●税理士 倉井章事務所 ●(株)池田亀次郎商店 ●山二クリーニング(有)代表取締役 上野裕司 ●古宮酸素 ●(株)町田建塗工業 ●(株)須山液化ガス ●アクアインボックス ●(株)CUBO(企画) ●ナオミオオガキ ●(株)ヴェール・ラ・リニエール ●きょうや ●金井会計事務所 ●フロアージュリール ●逢初寿し ●宴会処なごみ ●テザインアルグレイ田代暢雄 ●(株)藤井鋼業 藤井康夫 ●中国料理 虎前田賢司 ●(株)高崎工務店 高崎英雄 ●(株)井上総合印刷 ●(株)プロジェクト ●(株)ロゴ企画 裝飾 ●合資会社 花久商店 ●大矢商事 ●(株)秋田包装 ●医療法人 中山会 宇都宮記念病院 ●ホテル・ニューイタヤ ●青源味噌 ●アサヒビール ●(株)栃木群馬支社 ●花正 ●(株)虎屋本店 ●(有)仁科権蔵商店 ●(有)オリオン商事 ●(株)渡辺有規建築企画事務所 ●栗田工業 ●(株)ダイドードリンコ サービス 関東宇都宮営業所 ●(株)とらや ●弥生 ●群馬銀行宇都宮支店 ●秋澤信仁 ●(有)篠崎允孝商店 ●(株)トホク ●八木澤恭子 ●シンテックス ●(株)鯨建設 ●北村光弘 ●(株)辻由川村公認会計士事務所 ●(有)いねや旅館 ●(株)渡清 ●(株)シノサキ ●(株)コアミ計測機 ●マストー商事 ●(有)プロト ●高林堂 ●小花塗装 ●(株)杉村塗料 ●(株)ホテルサンルート宇都宮 ●合名会社 つちや ●宇都宮ステーションホテル ●(株)竹石紙店 ●(株)小松フォークリフト ●(株)リコーシヤパン ●(株)増測組 ●宇都宮商工会議所 ●(株)宮本印刷 ●タカコポ高工正三 ●(有)鯉割烹中村 ●(有)アサヒ商事 ●カフ下オリブ ●三和青果 ●藤井昌一 ●須賀英之 ●喜谷辰夫 ●(株)大槻装束店 ●(株)阿部 ●(株)長谷川製作所 ●日新工芸 ●(株)栃木県消防設備保守協会 ●天洋工芸 ●ミユキ産業 ●(有)随想舎 ●(株)松本保険事務所

二荒山神社氏子町会

※自治会は省略させていただきます

〈上町〉

- 旭町湖南 ●旭町二丁目中央 ●伊賀町北部 ●池上町 ●泉町 ●一 ●一条町二丁目 ●一条三丁目 ●一条四丁目 ●歌橋町 ●江野町 ●和尚塚南部 ●和尚塚二丁目 ●小幡町東部 ●小幡町西部 ●小幡町北部 ●小幡町南部 ●河原町 ●北一の沢 亀鶴荘 ●清住町 ●小伝馬町 ●寿町 ●幸町 ●境町 ●桜通り ●桜大谷通り ●桜東 ●桜二丁目 ●西原西組 ●三条町北部 ●三条町南部 ●三条町もみじ通り ●材木町通り 協和会 ●材木町中央 ●材木町五番 ●昭和通り ●新川 ●新石町 ●杉原尾上町 ●住吉 ●陽西通り ●滝谷町 ●滝谷町東部 ●滝谷町東 ●大寛二丁目 ●大寛三丁目 ●北部 ●大寛 ●三丁目 ●南部 ●大黒町 ●中央北部 ●中央二丁目 ●中部 ●鉄砲町 ●伝馬町 ●戸祭西部 ●戸祭二丁目 ●戸祭元町 ●戸祭地区四丁目 ●中戸祭一区 ●中戸祭二区 ●錦町一丁目 ●二里山 ●二条町北部 ●西 ●塙田北部 ●西原川向 ●西原佐野街道 ●西原十三町 ●西原太子町 ●西原仲町 ●吉野町 ●西原本町 ●西原末広町 ●西原六道町 ●西大寛中組 ●西大寛本町 ●熱木親交会 ●花園西部 ●花房本町 ●花房二丁目 ●西塙田本通り ●馬場町 ●挽路陸会 ●不動前三丁目 陸会 ●蓬萊町 ●星が丘 川西 ●曲師町 ●松原 ●松原通り ●松原二丁目 東部 ●松が峰 ●操町北部 ●南伊賀町 ●南新町上組 ●南新町下組 ●宮園町 ●茂登町 ●陽南東部 ●四条町上組 ●四条町上組中部 ●四条町南部 ●星が丘西部 ●本郷陸会 ●下戸祭二丁目 ●下戸祭二丁目 ●戸祭町

〈下町〉

- 相生町 ●旭三の丸 ●本丸西部 ●旭南 ●旭町一丁目 北部 ●旭町本丸 ●旭二南館 ●今小路 ●今泉町 ●大町 ●扇町 ●大曾二区 ●大曾三区 ●大曾西町 ●小門町 ●押切町 ●小田町 ●御蔵町 ●川向一丁目 ●川向二丁目 ●川向三丁目 ●川向四丁目 ●川向五丁目 ●川向六丁目 ●上河原 ●河原町 亀井が丘 ●旭栄町 ●石町 ●小袋町 ●宿郷町一丁目 ●宿郷町二丁目 ●宿郷町三丁目 ●宿郷町四丁目 ●宿郷町五丁目 東 ●宿郷町六丁目 西 ●八日市場 ●下河原町 ●清水町 ●新宿町 ●千手町 ●大工町 ●二の丸 (中央三丁目) ●寺町 ●天神町 ●中河原町 ●中河原一丁目 ●中塙田 ●八幡山 ●塙田百目 ●東塙田一区 ●東塙田二区 ●塙田三区 ●東塙田四区 ●東塙田五区 ●東塙田六区 ●東塙田七区 ●平松町 ●日野町 ●二荒町 劍宮 ●本丸東部 ●峰第一 ●峰町三区 ●宮島町 ●宮町(一区) ●元石町 ●築瀬二丁目 上組 ●築瀬旭陵通り ●築瀬三丁目 ●築瀬四丁目 ●築瀬五丁目 東 ●築瀬五丁目 西 ●築瀬六丁目 ●築瀬七丁目 東

# ふたあらかわら版



## ◎お焚き上げについて

お焚き上げお納めは有料です。また、神社に関係ないものはお焚き上げできません。神札・御守・縁起物など以外は持ち込まれませんよう、お願いいたします。



日時

12月15日(月)・1月15日(木)  
午前8時～午後6時

※事故防止・安全確認のため、お焚き上げ物の内容を確認させていただく場合があります。

## ◎大祓式

おおはらいしき

12月31日に、半年間の災いを祓い新年をむかえるための大祓式を執り行います。ご自身の身代わりに、人形を納めてお祓いを受けられます。人形(初穂料100円)は神社で授与致します。

## 駐車場ののご案内

神社の駐車場料金は、**正月期間中は全車有料100円**となります。ご了承ください。

大晦日、大通りへの駐車はできませんのでご注意ください。

1月1日～7日、  
1月15日  
(春渡祭)

## 初辰稻荷神社鳥居等改修工事の御案内と御奉納のお願い

当社境内西側に鎮座されております初辰稻荷神社は、昭和57年に御造営され、約40年以上が経過、各所で老朽化が進んでいます。そこで、令和7年12月に迎える昭和百年と、令和9年に迎える初辰稻荷神社講社結成70周年を記念して、社殿修繕や鳥居再建などの工事を行うこととなりました。

つきましては、社殿前鳥居・社内提灯をご奉納を広くお願いしています。また併せて篤志奉納金につきましても勧募をしております。(篤志奉納3口以上の奉納者より、芳名看板を作成し、稻荷神社内に顕彰を致します)



初辰稻荷神社

事業内容	初辰稻荷神社社殿修繕工事・初辰稻荷神社前鳥居再建工事
概要	奉納金 鳥居一基 30万円/記名入提灯一灯 3万円 など
申込期日	令和9年3月31日
申込方法	申込書は直接受付・または電話にてお問い合わせください。

連絡先

二荒山神社 祭務部 ☎028-622-5271  
事業詳細につきましては、二荒山神社社務所までお問い合わせください。

## 神社の情報をこちらでも

神社ではインターネットなどでも情報提供をしています。ご参照ください。

お問い合わせ/社務所 ☎028-622-5271(午前9時～午後4時)

ホームページ <http://futaarayamajinja.jp>



宇都宮二荒山神社

検索

スマートフォンなどでもご覧いただけます。



宇都宮二荒山神社[公式]  
@futaarasan